

楽しく歌おう

直方出身歌手による合唱指導

10月23日、感田小学校で、直方市出身のソプラノ歌手野上結美さんによる合唱指導が行われました。この催しは、プロの音楽家の合唱指導により、子どもたちに歌うことの楽しさと素晴らしさを体感してもらい、感性を養うことを目的としています。オペラやジャズなど幅広いジャンルで全国を舞台に活躍している野上さんは、生活の中に歌があることで楽しくなるという自身の経験から、子どもたちに歌を好きになつてほしいとの思いで指導に取り組んでいるといいます。

合唱指導では、体を使った呼吸法を学んだり、滑舌を良くするため「あぶりカルビ」の発声を10回繰り返すという練習をしたりしました。その後全員で「もみじ」を合唱。元氣な歌声が教室に響きわたりました。4年1組担任の田中祐子先生は「短時間でみるみる上達しましたね」と話し、児童らは「初めてオペラを聞いてびっくりした。声の出し方を教わって大きな声で歌えた」「家でも『あぶりカルビ』を練習したい」と笑顔で話しました。



繰り返すと非常に言いづらい「あぶりカルビ」

ひまわりを育てて命の大切さを学ぶ

人権の花運動

直方西小学校3年生20人が、福岡県の人権の花であるひまわりの種を植え、育てることで、命や人権の大切さを学ぶ「人権の花」運動に取り組みしました。この取り組みに対して、10月23日に直方人権擁護委員協議会から感謝状と記念品が贈られました。人権擁護委員からは「一生懸命水やりや草取りをして花を咲かせてくれて、本当にありがとう。これからもいろんな命を大切にしていって、命について考えてください」との言葉がありました。長野翔悠さんは「はじめはなかなか大きくならなかったけど、7月に花が咲いたときは嬉しかった。風船につけて飛ばす種と手紙が誰に拾われるかわからないけど、3年1組の皆の気持ちが届くということだった。これからも皆で助け合っていきたい」と代表で挨拶しました。



誰が拾ってくれるかな

新しい本と人に出会って

図書館ボランティア顕彰式

10月23日、市立図書館で図書館ボランティアの顕彰式が行われました。書物整理や破損した本の修繕等を担当する窓口ボランティア、7カ月児健診で赤ちゃんと母親に絵本を渡すブックスタートボランティア、古文書の研究や整理を担当する郷土ボランティア、読み聞かせ等をする行事ボランティアの4種類があります。顕彰式では、活動時間や実施回数が節目に達した16人・4団体に市が感謝状を贈呈。宮地副館長は「約170人の素晴らしいボランティアに図書館を支えてもらい、誇りに思っています。今後も図書館の成長に力を貸してほしい」と感謝を伝えました。

窓口ボランティアで1500時間を達成した棟形美智子さんは「いろいろな人や本にめぐりあうのが楽しい。ボランティアは私の生きがい」と目を輝かせていました。また、同ボランティアで400時間達成の井上寛さんは「書物整理では本の背表紙を揃えたりするなど、来館者が探しやすいように工夫しています。これからも元氣なうちには続けたい」と意欲を語りました。



図書館は出会いの宝庫

モノづくりのまち直鞍 「夢プロジェクト」受賞作品表彰

直鞍地域の小中学生にモノづくりへの関心や親しみを持つってもらうため、直鞍地域の企業等で構成された「直鞍次世代産業研究会」および「直鞍産業振興センター（ADOX福岡）」が、『このよつなものがあつたらいいな、普段の生活が便利になるな』というアイデアやデザインを募集する「夢プロジェクト」を主催しました。

今年度のテーマは「みんなのまわりで困っている人や不便なことを解決しよう」。直鞍地域の小中学校から133件の応募があり、入賞者を対象に11月8日に植木中学校で表彰式が行われました。

《入賞者》

- ▽次世代産業研究会会長賞：村上優斗さん（植木中学校3年）
- ▽直方市長賞：月成彩寧さん（植木中学校3年）
- ▽直方商工会議所会頭賞：佐藤澁輔さん（直方北小学校5年）
- ▽宮若商工会議所会頭賞：松雪蒼依さん（宮田北小学校6年）
- ▽直鞍産業振興センター長賞：森田凜さん（小竹南小学校4年）
- ▽直鞍ビジネス支援センター長賞：寒竹美孔さん（植木中学校2年）
- ▽奨励賞：全14人

《次世代産業研究会会長賞》

災害時用キーホルダー：GPS内蔵のキーホルダーで、持ち主の位置や天気、時間などがリアルタイムで分かる。消防署などに直通する安否を確認するボタンや、AM・FMラジオも内蔵している。

《次世代産業研究会会長より一言》

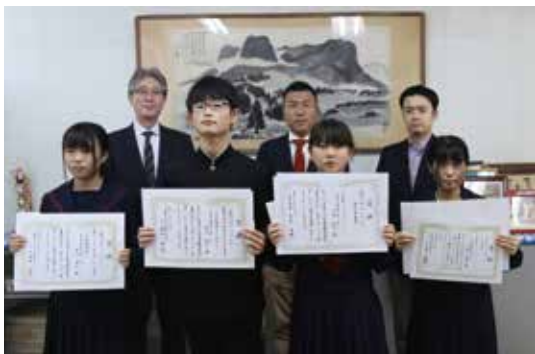
実現可能性のありそうな、良い作品が賞に選ばれている。次世代産業研究会会長賞の「災害時用キーホルダー」については、実現に向け検討しているところ。楽しみにしていてほしい。

《表彰対象となった優秀作品について》

12月4日～10日の間（土日を除く）、市庁舎1階の市民サロンにて作品のパネルを展示します。

《問い合わせ》

直鞍産業振興センター（ADOX福岡） 別館（TEL 22・0575）



素敵なアイデアがたくさん寄せられました

直方の新たな情報発信拠点

JR直方駅に観光案内所オープン

直方市観光物産振興協会は、JR直方駅に新たな情報発信拠点として観光案内所を新設しました。11月3日からの業務開始に合わせてオープニングセレモニーが行われました。

観光案内所は、駅2階、みどりの窓口の隣に開設されています。駅の中という強みを活かして、国指定史跡となった石炭記念館や高取焼の窯元など観光名所を始め、飲食店の紹介や道案内、イベント情報を提供します。同協会理事長の三原副市長は「この案内所は、清らかで気品のある梅の花と、希望の色である黄色をコンセプトにデザインされています。ここを拠点に直方をどんどんPRして、愛していただくように頑張ります」と意気込みを語りました。筑豊篠栗鉄道事業部の森部毅部長は「地域と一緒に魅力ある駅となればいいですね」と話しました。

グルメキャラクター直方焼きスパマンも応援に訪れ、直径37センチの特大成金饅頭に入刀。駅の利用者に成金饅頭が振る舞われ、笑顔が広がりました。



焼きスパマンも観光案内所をバックアップ



渋い色味の大人っぽい雰囲気